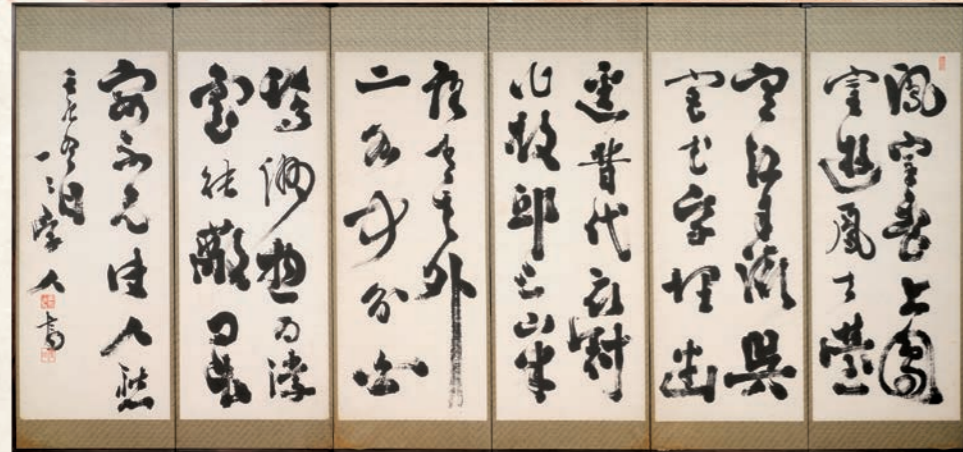


第四章 近江に伝わる近代の名筆たち

書風の模索 —江戸時代を中心に—

近代の新風 —明治・大正の政治家の書—

近江ゆかりの書画家・篆刻家 —一六、鳴鶴、梧竹、湖城—



副島種臣 行書李白詩屏風 明治25年(1892) 滋賀県立琵琶湖文化館所蔵

春花落盡忽秋霜一瞬朝暉夜夕陽
休說世間人事劇觀來造物亦多忙
丁巳三月落筆於花壇主人 香洲先生

大正6年(1917) 洪沢栄一行書七言絶句(贈常盤花壇婦人) 軸 滋賀県立琵琶湖文化館所蔵



滋賀県指定文化財 被帽地藏菩薩像 鎌倉時代 法蓮寺(東近江市)所蔵

背景:伊藤博文 行書七言律詩(於滄浪閣)軸 明治29年(1896) 滋賀県立琵琶湖文化館所蔵

近江ゆかりの書画

滋賀限定!

古写経から近代の離れ



滋賀県立琵琶湖文化館 外観

2024年 9月21日(土)~11月24日(日)

前期: 9/21~10/20
後期: 10/22~11/24

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)
9:30~16:00(入館は15:30まで)

〔入館料〕*()は割引価格
一般1,500円(1,000円) 高校生・学生1,000円(500円) 小・中学生100円

観峰館 新館 特別展示室

〔主催〕公益財団法人日本習字教育財団 観峰館、滋賀県立琵琶湖文化館
〔後援〕東近江市、京都新聞、中日新聞社、読売新聞大津支局、毎日新聞大津支局、NHK大津放送局



関連イベント ※入館料で参加できます(オルゴール鑑賞会以外)

アンティーク
オルゴール鑑賞会
9月29日(日) 14:30~15:30
無料入館日



※予約不要

ギャラリートーク
&ミニセッション
10月13日(日) 13:30~15:00
両館展覧会担当学芸員による
トークセッションです。 ※予約不要

習字の日 記念講演会
東近江地域文化財の将来
10月27日(日) 13:00~15:00
藤田 励夫氏(京都府立大学共同研究員)
坂田さとこ氏((株)坂田墨珠堂代表・装演師)
定員50名 ※予約不要

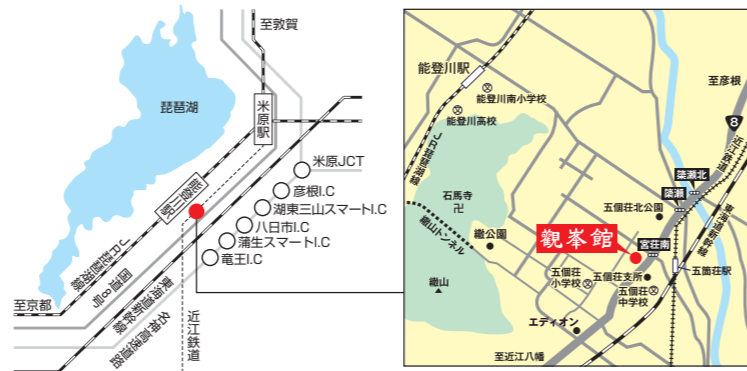
土曜講座 いずれも13:30~14:30 (各定員)各20名
9月28日(土)「近江ゆかりの書跡を探る①
—雲居希膺—」 要予約
11月23日(土)「近江ゆかりの書跡を探る②
—副島種臣—」 講師:寺前公基(観峰館学芸員)

琵琶湖文化館主催 花湖さんの打出のコツ
滋賀の文化財講座
解説付鑑賞会
11月13日(水) 14:00~15:30
※申込は、滋賀県立琵琶湖文化館まで
(10/24~、電話のみ)
TEL.077-522-8179

書の文化にふれる博物館
観峰館

公益財団法人 日本習字教育財団 観峰館
〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘竜田町136
TEL 0748-48-4141 FAX 0748-48-5475 URL https://kampokan.com

交通のご案内
■電車・バスをご利用の場合...①JR琵琶湖線(東海道本線)能登川駅下車→近江鉄道バス(八日市駅行き)で金堂竜田口下車、徒歩約15分(全所要時間約25分)
②近江鉄道五箇荘駅下車、徒歩約15分
■タクシーをご利用の場合...JR能登川駅から約10分
■お車(名神高速)でお越しの場合[無料駐車場完備]...①名古屋方面 彦根ICから国道8号で、南西(大津方面)へ約16km/②大阪方面 竜王ICから国道8号で、北東(彦根方面)へ約16km



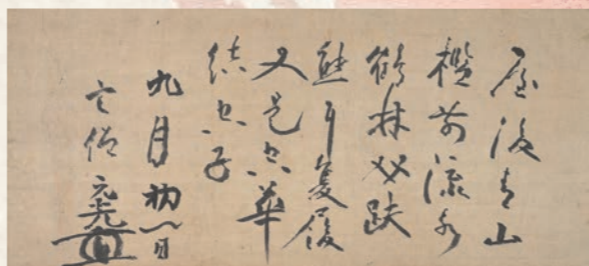
書の文化にふれる博物館
観峰館



第一章 東近江地域の文化財



重要文化財 寂室元光 墨蹟(道号) 南北朝時代・貞治5年(1366) 退蔵寺(東近江市)所蔵 前期展示



重要文化財 寂室元光 遺偈 南北朝時代・貞治6年(1367) 永源寺(東近江市)所蔵 後期展示



修復後初公開! 東近江市指定文化財 不動明王三童子像 南北朝時代 乾徳寺(東近江市)所蔵 後期展示 ※(公財)住友財団2021・2022年度 文化財維持・修復事業助成による

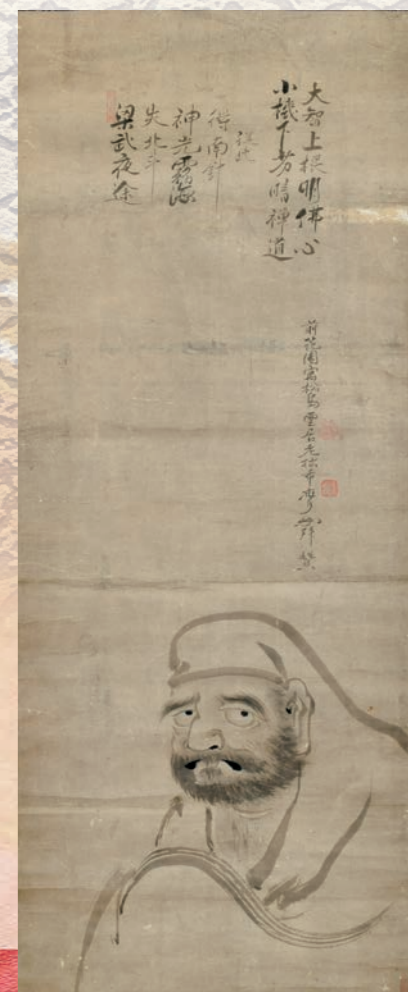


横川景三 贊 寂室元光像 室町時代・文明2年(1470) 清源寺(日野町)所蔵 後期展示

第三章 雲居希膺 — 徳昌寺所縁の墨蹟から —



雲居希膺像 江戸時代・万治2年(1659) 千手寺(彦根市)所蔵



雲居希膺 達磨図 江戸時代前期 徳昌寺(東近江市)所蔵 前期展示

第二章 近江ゆかりの古写経

— 古写経から近代の書まで —

観峰館は、開館20周年の平成二十七年(2015)以降、滋賀県東近江地域の文化財調査を通して、地域とのコラボレーションによる企画展を展開しています。また共催館である滋賀県立琵琶湖文化館は、昭和36年(1961)に開館した県内初の公立博物館で、県内寺社から仏教美術を中心に多くの文化財を受託し、多彩なコレクションを形成しています。

この展覧会は両館の特徴を活かし、琵琶湖文化館収蔵品を中心に、東近江地域ゆかりの墨蹟・仏画、奈良・平安時代の古写経、江戸時代以降の能書の作品を取り上げます。見どころは、市内初公開の重要文化財「寂室元光墨蹟(東近江市・退蔵寺所蔵)」や、住友財団の助成による修復を終えて初公開となる「不動明王三童子像」(同市・乾徳寺所蔵)です。また近年発見された大久保利通宛の西郷隆盛書簡や、新札の顔・渋沢栄一の書にもご注目ください。

日本屈指の書の博物館という特色を活かし、滋賀県や東近江地域の文化財に新たな光を当てた他に例のない展覧会です。

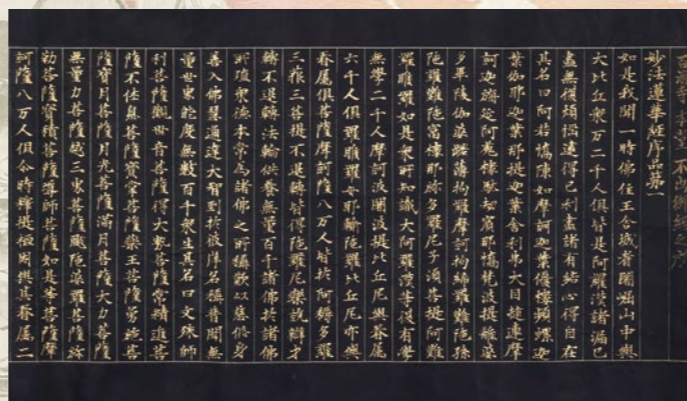
第二章 近江ゆかりの古写経



重要文化財 輪宝蒔絵経箱 室町時代・応永16年(1409) 百濟寺(東近江市)所蔵 後期展示



滋賀県指定文化財 紺紙金字妙法蓮華経 平安時代 百濟寺(東近江市)所蔵



重要文化財 紺紙金字妙法蓮華経(経箱入) 平安時代 百濟寺(東近江市)所蔵